



# さゆりっ子

## 友だちとのかかわり



上田南幼稚園からいただいてきたスズムシさんもすっかり成虫になりました。夏の間、盛んに鳴き続けていましたが、この頃はその声もかすれ気味。お別れが近づいてきていますが、最後にたくさん卵を産んで来年に楽しみをつないでほしいと思います。

お友だちをお名前と呼べるようになり、一緒に遊べる楽しさを感じ合えるようになってきた園児たち。日頃からの友とのかかわりは絶好の学びの場でもありますね。



お友だちの持っているボールが欲しいけど、なかなか言葉で伝えられずに一生懸命追いかけていました。そして男の子は近くの先生に困っていることを訴えに来ました。どうしたら自分の思いが伝わるかなと自ら考えて行動しようとする気持ちがよく表れています。

「○○したい。」思いから様々なかかわり方を考えだそうとしてくる時にそっとその背中を押してあげることで自分の殻から一歩踏み出していこうとする気持ちが強くなっていきますね。

「もしもし、しょうぼうしょですか？」

「はい、そうです。かじですか？」

お部屋の窓に張り付いて、いつも消防車や救急車を見つめている二人が流行っている電話遊びに共通の興味を通して夢中になっていました。

お互い惹かれ合い、かかわりが多い分、意見の食い違う場面も当然あります。それ以上に新しい遊び、楽しい遊びを見つけて一緒にやりたい気持ちが二人の関係づくりを進めてくれます。つながりが深まっていきますね。







リレーの練習。いつもアンカーを走るAさんに替わってこの日はBさんが走りました。みんなバトンも落とさず、見事走り抜き1位になることができました。するとゴール直後、AさんがギュっとBさんに抱き着いてきました。“すごい、1位!”の思いはもちろんですが、アンカーの大変さを知っているAさんだからこそ、その役目を果たしたBさんに“やったね〜”と思わず伝えたくなったのでしょうか。これをきっかけにAさんもアンカーとして最後まで力強く走る姿がありました。

長い間お休みしていたお友だちが、久しぶりに登園してきました。

お友だちがお休みしている間、毎日のように「〇〇さん、まだ来ないの〜?」「明日は来るかな?」とつぶやいていました。

そしてお友だちの姿を見つけた瞬間にすぐに駆け寄り、話しかけていました。

年中のころから仲良しになってきたお友だち同士は、一緒にいられるだけでとってもうれしいのですね。



運動会などの大きな行事を経験する度に、子どもたちのその成長ぶりに特に感心させられます。そして、子どもたちの心の中に育ってきている、気づいてきている”自信”は取り囲む環境に対して積極的にかわりを求めていこうとしてきます。時には強い思いからわがままに映ってしまう場面もありますが、どうかかわっていったらいいのか、考えるにはとてもいい場面。こういう時ほど、園とおうちとつながって子育てしていきたいですね。

### 爬虫類（9／5）

「私、しっかりとスズムシ、見たことなかった。」（Aさん）盛んに鳴いている虫かごを覗きながら会話が弾む。

「どこで捕まえてきたんですか？」（Aさん）

「産まれるところから育てるんです。」（園長）

「たくさん卵から孵るんですよね。」（Bさん）

「コオロギとはちがうんですよね。」（Aさん）

ちょうど壁面に貼ってあった写真を見て、なるほどの表情。

「昔、コオロギを飼ったことがあるんです。カナヘビのえさ。」（Bさん）

エッ!意外な言葉。一気に興味が湧いてくる。

「私もカナヘビ、好きなの。」（Aさん）

エッ!二人とも…。

あいさつを交わしているだけでは触れることのなかった話題で二人との距離感がぐっと縮まったように感じた。

